

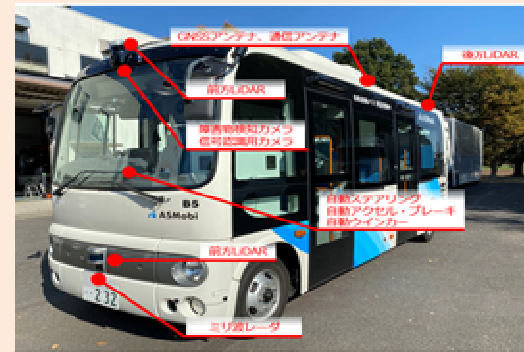
■【議事事項】1期社会実証の概要について①

～1期社会実証の概要～

- 1期社会実証走行を8月下旬に2週間程度実施します。
- 1期区間のバス専用通行帯（約800m）において、自動運転バスをレベル2で走行させ、それ以外の区間は手動に切り替えて実施します。
- 自動運転システムを搭載した「日野ポンチョ」タイプの自律型自動運転バスを1台導入します。
- 運行形式は、乗車定員を設定した貸切運行とし、全員着席した状態での運行を基本とします。
- アクセル、ブレーキ、ハンドルについて、運転士の操作を優先するシステムを搭載します。
- 自動運転と手動運転の切替を運転席に備えたボタンにより即時に切替え可能とします。
- 社会実証及び社会実装時の運転士は、自動運転システム事業者によるトレーニングを十分に受け、自動運転システムへの理解を深めた東武バスウエストの運転士が担当します。
- 自動運転レベルは、最初は自動運転「レベル2」での走行とし、「レベル4」の実現に向けた下記課題の洗い出しや検証実績を積み上げます。

【主な検証項目】

- ❖ 自動運転走行での意図しない急停車や手動介入箇所の検証
  - ❖ アップダウンの激しい坂道での乗り心地の検証
  - ❖ 自動運転バスへの受容性として、今後の利用意向等をアンケート調査で検証
- 設問例：自動運転バスの快適性や安全性、今後の利用意向 等



項目	内容
名称	日野ポンチョロング
タイプ	ロングボディ2ドア
座席	着座12名 ※運転手含む
総重量	7,840kg
全長	6,990mm
全幅	2,260mm
全高	3,100mm

■【議事事項】1期社会実証の概要について②～走行及び運行ダイヤ～

- 東武バス「SGリアルティ和光線(和光市駅北口⇄SGリアルティ和光発着)」と同一ルートを走行します。
- SGリアルティ和光線の既存ダイヤに対し、自動運転バスをオフピーク時間帯に当たる11時～14時台に計3便増便します。
- 自動運転バスは、平日のみの運行とし、休日・祝日は運行しないものとします。

SGリアルティ和光内の停留所位置



■【議事事項】1期社会実証の概要について③

～1期区間の整備状況（令和5年6月30日現在）～

バス専用通行帯



- バス専用通行帯であることが分かるように、路面標示及び赤のラインで強調しています。



- バス専用通行帯の下りの区間については、滑り止め効果がある薄層カラー舗装で施工しています。

自転車歩行者道



- 破線や歩行者及び自転車のマークを路面表示することにより、視覚的な誘導を図り、歩行者と自転車が接触しないように配慮しています。



■【議事事項】1期社会実証の概要について④～1期社会実証の実施体制～

事業内容	
和光市	自動運転サービス導入事業の実施主体
東武バスウエスト株式会社	自動運転バスを運行するバス事業者
先進モビリティ株式会社	自動運転車両のリース及び運行システムを構築する事業者
アイサンテクノロジー株式会社	自動運転車両に搭載する3次元地図を作成する事業者
損害保険ジャパン株式会社	社会実証走行における保険を取り扱う事業者

運転士のトレーニング

- バス専用通行帯で、手動運転による走行路の確認
- 座学研修及び営業所内での自動運転走行（2時間程度）
- バス専用通行帯での訓練（6時間程度かけて10回程度の走行）
- 実証走行開始（令和5年8月28日）

【問合せ先】

和光市建設部 公共交通政策室 公共交通政策担当  
 TEL：048-424-9145（直通） mail：e0800@city.wako.lg.jp